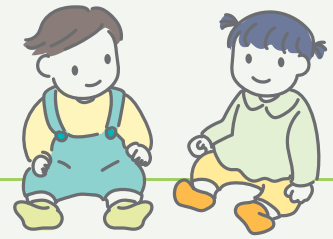


# 4

## こどものようす

4  
こどものようす

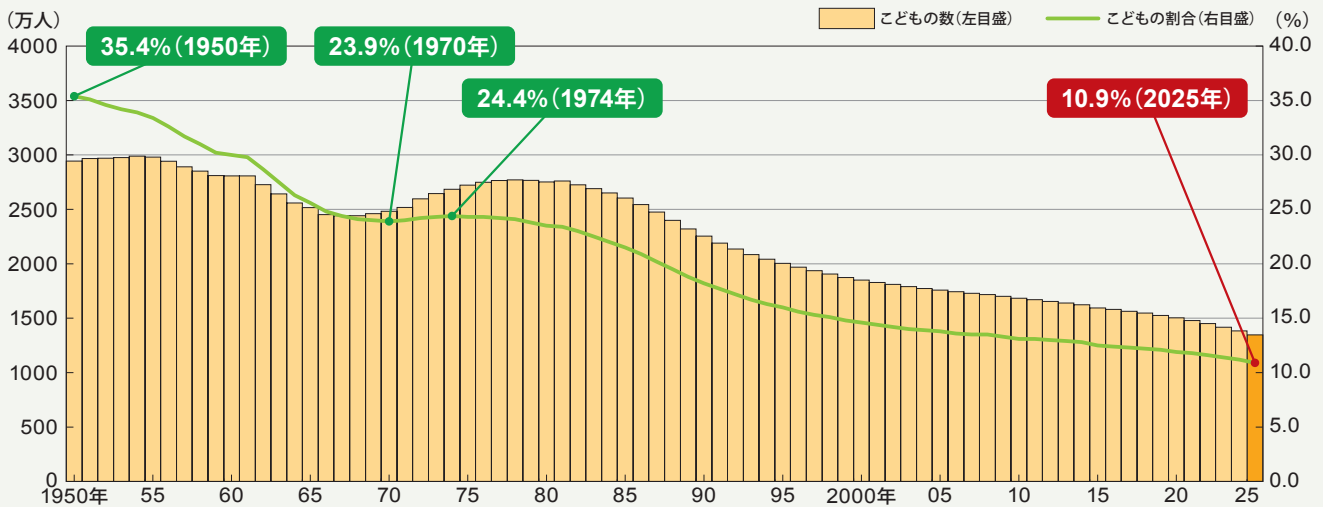


### こどもの割合は10.9%、51年連続の低下

#### こどもの数及び割合の推移(1950年～2025年)

総人口に占めるこども(15歳未満人口。以下同じ。)の割合は、1950年には35.4%と総人口の3分の1を超えていましたが、第1次ベビーブーム期(1947年～1949年)後の出生児数の減少を反映し、1970年には23.9%まで低下しました。

その後、第2次ベビーブーム期(1971年～1974年)の出生児数の増加によって僅かに上昇し、1974年には24.4%まで上昇したものの、1975年から再び低下を続け、2025年は10.9%と、51年連続の低下となりました。



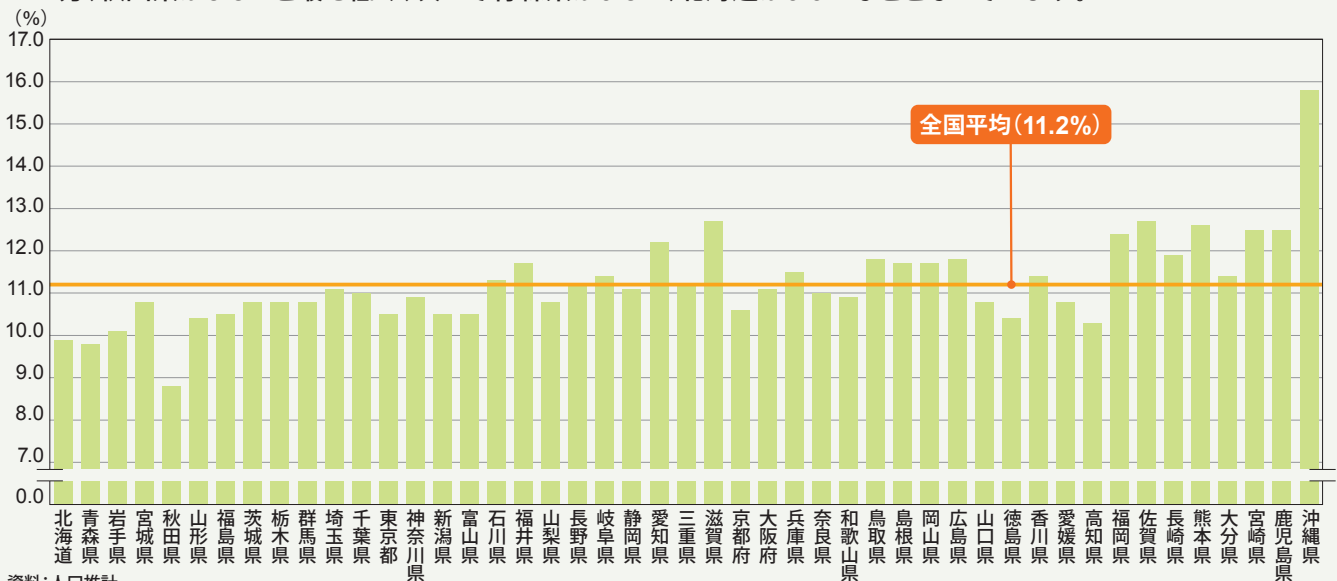
資料:国勢調査結果及び人口推計

### こどもの割合は沖縄県が最も高く15.8%

#### 都道府県別こどもの割合(2024年)

都道府県別人口に占めるこどもの割合は、沖縄県が15.8%と最も高く、次いで滋賀県及び佐賀県が12.7%などとなっています。

一方、秋田県が8.8%と最も低く、次いで青森県が9.8%、北海道が9.9%などとなっています。

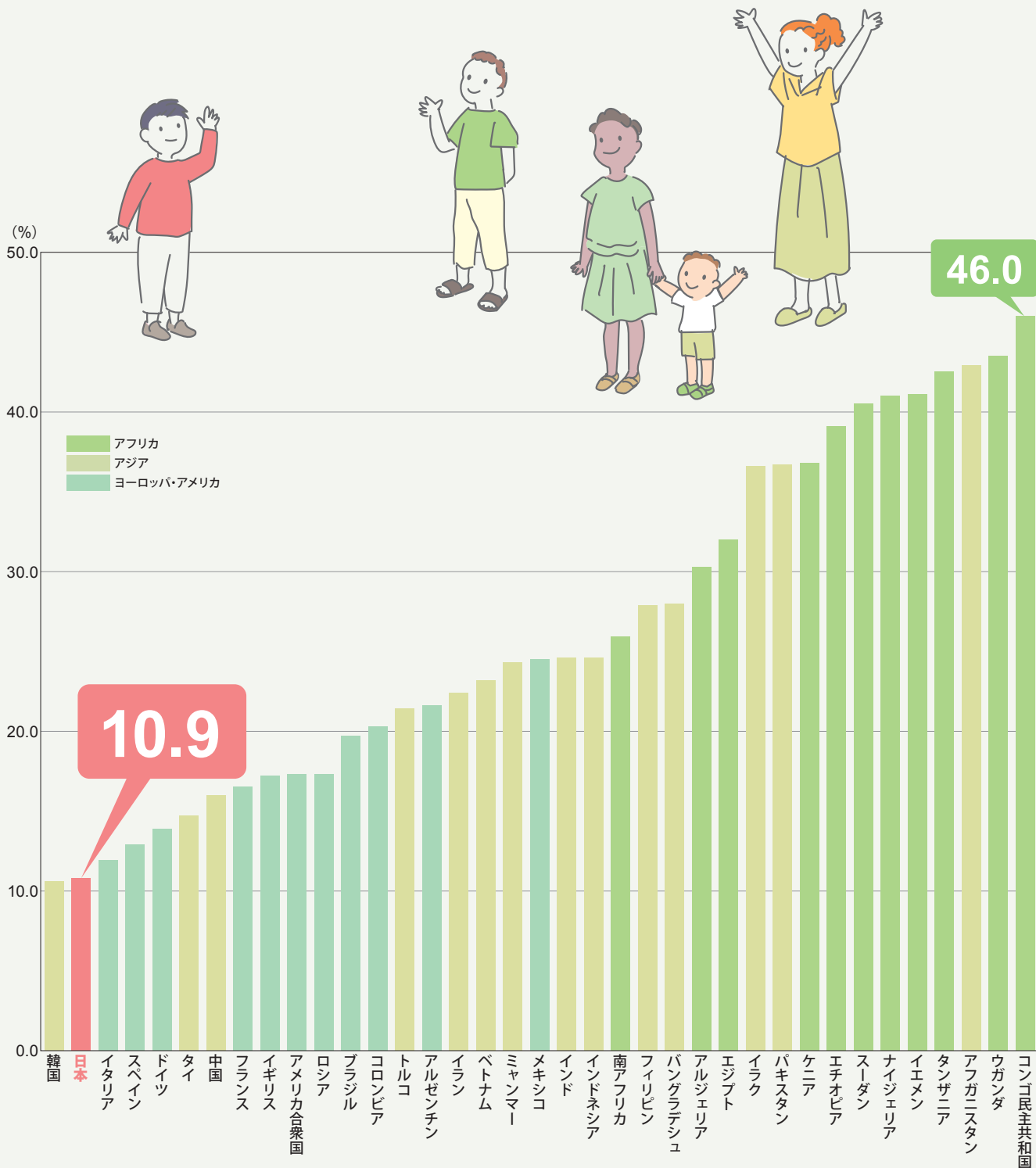


資料:人口推計

## こどもの割合は韓国に次いで低い

### 各国におけるこどもの割合

こどもの割合を各国と比較すると、日本は韓国に次いで低くなっています。



資料: United Nations, "World Population Prospects, The 2024 Revision" による2024年の年央推計値(うち人口が4000万人以上の国)  
日本は人口推計(2025年10月1日現在)